

## 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	産業連携・交流推進事業	コード	7109
-------	-------------	-----	------

2 担当部課	部等	産業振興部	課等	工業振興課	作成者	金子 郷
--------	----	-------	----	-------	-----	------

3 事業概要	目的体系	基本目標	人が集い、にぎわいと活力あふれるまち		
		政 策	産業の振興	施 策	工業の振興
		予算科目	産業連携・交流推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	市内企業間の情報交換及び先進地視察等の活動支援。また、産学官金連携や都市間交流により、市内企業の受発注活動支援を行う。		
目的	対象者	関係機関、大学等	
	意 図	産学官連携の推進、都市間交流による受注機会の確保	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>■岡谷市金属工業連合会、機械精密工業会、表面処理工業会、電気工業会、計量器工業会の事務局として、市内企業間の情報交換や先進地視察等の工業会活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>IoT視察研修会：視察先 長野県AI/IOTデバイス事業化開発センター、市内企業 参加者：8名</li> <li>岡谷市機械精密工業視察研修：視察先 熊本県合志市、福岡県北九州市 参加者12名</li> </ul> <p>■産学官金連携推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>信州大学と連携し、「エンジニアのための教養講座2019」を開催した。（計7回 のべ92名）</li> <li>市内金融機関との共催により「都市部の即戦力・複業人材活用支援セミナー」を開催した。（参加者40名）</li> </ul> <p>■産学官金連携推進事業</p> <p>21経営者研究会にて、東京都板橋区へ視察研修を行い、企業グループ「イタテック」との交流会を実施した。（参加者12名）</p>			
前年度の課題への対応			

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	開催数			単位	回
実績値	4	4	4		
*指標の説明	交流会、情報交換会、視察等の開催数				
② 成果指標（指標名）	参加者数			単位	人
目標値	19	40	20	72	
実績値	40	20	72		
達成度	210.5%	50.0%	360.0%		
*指標の説明	情報交換会等の参加者数				
*目標値の設定方法の説明	定員人数				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	3,542,707	3,415,015	3,616,380	3,829,000
経常経費	3,542,707	3,415,015	3,616,380	3,829,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
正規職員の人数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50
③ 合計コスト(①+②)	7,542,707	7,415,015	7,616,380	7,829,000
前年度比		98.3%	102.7%	102.8%
財源	7,542,707	7,415,015	7,616,380	7,829,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	1,885,677	1,853,754	1,904,095	
前年度比		98.3%	102.7%	
⑤ コストに関する補足説明	視察研修実施に伴う旅費及び、負担金等の増加のため			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
ジェットロ諏訪支所負担金	件数	1	1	1	1
	金額	813,000	813,000	1,234,000	1,234,000
産業のまちネットワーク協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	30,000	30,000	30,000	30,000
諏訪東京理科大学地域コンソーシアム推進協議会負担金	件数	1	0		
	金額	80,320	0		
諏訪圏ものづくり推進機構補助金	件数	1	1	1	1
	金額	2,417,370	2,275,757	2,126,758	2,204,000
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	3,340,690	3,118,757	3,390,758	3,468,000
	割合	94.30%	91.32%	93.76%	90.57%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	360.0%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	360.0%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 産学官金連携するには、常に最新の情報を共有し、時代や企業ニーズに合った支援を実施する必要がある。	
	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 各支援機関の担当者と情報交換を行い、連携した支援を実施することにより、より効果的な企業支援を実施する。	
改善方法		
	改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---